

# ゆきしろみず



雪解けの里山に春一番に咲くカタクリの花



敷地護岸工事状況(矢板打ち込み)



大人に負けなくらい艶やかです



緊張のちいざ本番

## 主な内容

- 特集 準備工事の状況をお知らせいたします……………2
- シリーズ第4弾 働く人がよく見える発電所「防災安全・品質グループ」 3
- 地域の皆さまを対象とした  
「東通原子力発電所」準備工事現場見学会を実施しています……………4
- まさかり半島豆知識「ゆきしろみずミニミニクイズ」……………4
- 村民の笑顔……………5  
郷土芸能をエネルギーに受け継ぐ! 一東通村蒲野沢子ども会—
- 盛り上がった地域イベント参加報告……………6  
第43回 東通村郷土芸能保存連合会発表会  
第31回 東通村子ども会郷土芸能発表会
- 読者の声……………6



東通原子力建設準備事務所

Vol 17  
春号

2009.3.31

# 準備工事の状況をお知らせいたします

陸上工事

- 進捗率は敷地造成工事が81%、進入路工事が62%、構内道路工事が87%です。
- 企業センターヤード(協力企業が仕事をする建物を建設する敷地)や水処理建屋ヤード(発電所で使用する水をろ過したり不純物を取り除いたりする施設を建設する敷地)の造成を行っています。
  - 冬季期間、休止していた道路工事を3月中旬から再開しています。

港湾工事

- 進捗率は1工区(南・東防波堤)が49%、2工区(北防波堤・物揚場)が22%です。
- 東防波堤は約210m、北防波堤は約410mまで延伸しました。
  - 鋼矢板の打ち込みによる敷地護岸工事を継続しています。
  - 港内の浚渫工事(港内の海底の土砂を必要な深さまで取り除く工事)を3月中旬から行っています。

その他  
準備工事

- 石材の運搬・仮置きを継続しています。
- 冬季期間、休止していたコンクリートブロックの製作を3月中旬から再開しています。

【進捗率は2月末現在】



H21.3月の全景



北防波堤工事状況(ブロック据え付け)



水処理建屋ヤード



敷地護岸工事状況(矢板打ち込み)

準備工事

Q & A

Q1

敷地造成工事や港湾工事に使っている建設用の機械は、どこから搬入したの？

A1

原子力発電所は広大な土地に大きな設備を造るため、それに伴う敷地造成や港湾工事などに大型の機械が必要です。現在使用している機械類は、陸上から搬入しました。なお、機械の種類によっては、分解して搬入し現地で組み立てて使用しています。

Q2

大量に製作しているコンクリートブロックは余ることはないの？

A2

防波堤の設置に伴い、波の打ち消しや石材を覆い安定させるために、さまざまなコンクリートブロックを製作していますが、これは、港湾工事で必要な数を計画的に製作し、防波堤の延伸とともに、全て据え付けを行うことから、最後には余ることはありません。





## 防災安全 ・品質

### グループ

私たち「防災安全・品質グループ」は平成21年2月に発足したばかりの“ほやほや”グループで、優しい？<sup>えさし</sup>江刺グループマネージャーとメンバー3名の小所帯です。メンバーは全員が青森県出身で、ベテラン2名(おつ出身、五所川原出身)と中堅1名(おつ出身)の少数精鋭部隊です。



不具合を審議する不適合管理委員会の様子

具体的な業務としては、災害防止対策に万全を期するために『安全推進協議会』を組織して、当所と協力企業が作業安全はもとより当所構内の防火管理や交通安全などに関して相互に協力し連絡・協議を行い、災害「ゼロ」を目指した安全管理の面での取り組みや、設備・業務の信頼性の維持・向上を図るため、現場や事務所で起こった不具合を管理しながら業務の改善活動を展開し品質の向上を図る取り組みなどを行っております。

これからも、「世界に誇れる原子力発電所の建設」を目指し、地元の皆さま方の信頼が得られるよう、協力企業と所員全員による安全と品質に関する地道な活動に取り組んでまいります。



江刺グループマネージャー



災害ゼロを目指し安全講演会を開催



安全パトロールを定期的の実施



協力企業とともに作業手順と作業安全を確認



災害事例をもとに再発防止対策の検討



災害ゼロを願う「安全祈願」

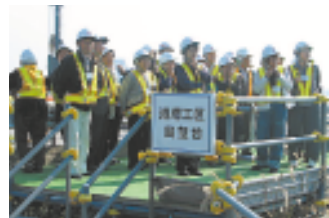
お断り

「ゆきしろみず」冬号において、今回の掲載は『建築グループ』とご案内いたしましたが『建築グループ』は次回、夏号vol.18といたします。

# 地域の皆さまを対象とした「東通原子力発電所」準備工事現場見学会を実施しています

東通原子力発電所1号機の準備工事は、平成18年12月より開始しており、地元の皆さまから多大なご理解とご協力のもと順調に準備工事を進めております。

そこで、昨年10月より地域の方々に現在の準備工事の進捗状況をご見学いただき、更にご理解を深めていただくことを目的に実施しています。今年も、継続して行いますので宜しくお願いいたします。



まさかり半島  
豆知識

## ゆきしろみずクイズ

ここ東通村も春の日差しが少しずつ暖かみを増し、雪解けの季節を迎えました。

- 庭先の草花も競うように芽をふくらませています。さて問題ですが、春一番どの花よりも真先に太陽に顔をほほ笑む福寿草は①～③の何番でしょうか？

※下北半島の山々には群生地も知られ、貴重な山野草として守られています。



### 応募方法

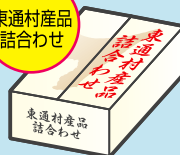
答えがわかった方は折込ハガキでご応募ください。正解者の中から抽選で1名様にIH調理器を、そして10名様に東通村産品詰合わせをプレゼントいたします。なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。ご応募はお一人さま一通を有効といたします。〈応募締切/平成21年5月31日(日)当日消印有効〉クイズの答えは次号に掲載いたします。

IH調理器



(写真はイメージです)

東通村産品詰合わせ



### 冬号の答え



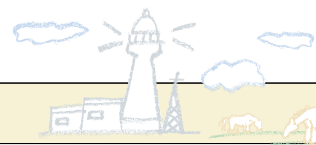
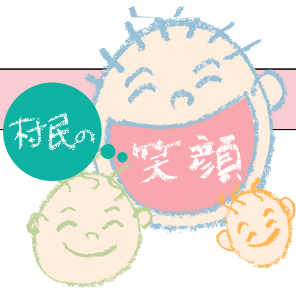
鮭は①でした!

※応募総数105通のうち91名様が正解でした!

### 個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本広報誌関連の使用を目的とし、第三者に開示・提供することはありません。





## 郷土芸能を エネルギーに受け継ぐ! 東通村蒲野沢子ども会

東通村子ども会育成連合会が主催する、第31回東通村子ども会郷土芸能発表会が2月15日東通村体育館で行われ、蒲野沢子ども会の小中学生も力強い能舞と優雅な手踊りを披露しました。

蒲野沢子ども会の会員は、小学1年生から中学3年生までの31人。昭和55年、PTAの校外班から地元の子ども会育成会にバトンタッチされ、空き缶拾い、ねぶた運行、盆踊り、キャンプなど、子どもたちの希望を取り入れ積極的に活動を行っており、能舞と手踊りの伝承も、活動の一環です。年間を通して男子8人が能舞、女子23人が手踊りの稽古に30日以上も励んでいます。

今回の演目は、能舞が「権現舞」、手踊りが「つきあげ」。蒲野沢集会施設「山あいの里」には2週間前から子どもたちが集まり、蒲野沢青年会と婦人会から指導を受け「打習い」と呼ばれる稽古に励んできました。

「打習い」は、はじめに基礎的な踊り方を覚えたあと、扇子の持ち方、歩き方、立ち振る舞いなどの指導を受けます。小学生には楽しく、中学生には伝統

を守る心がしっかりと伝えられます。指導にあたっては青年会の



皆、真剣です



指導にも熱が入ります



ちびっ子も一生懸命



石田和暉さん



田中麗香さん



緊張の中間ざ本番



大人顔負けの舞です

メンバーは「能舞は簡単に覚えられないので、稽古の積み重ねが大切です。能舞の師匠としては、優しさの中にも厳しく、集中出来るよう工夫しています」と話しています。最後の練習となった2月13日は、みんな真剣な表情で総仕上げを行いました。

そして、いよいよ本番。伝統的な衣装に身を包んだ子どもたちは、稽古の成果をエネルギーに発表しました。蒲野沢子ども会の会長で東通中学校2年生の石田和暉さんは「練習は直すところがいっぱいあって大変だったけど、うまく舞うことができて嬉しい。能舞は見るのも舞うのも大好きです」と息を弾ませて話します。また、本番を終えた東通中学校2年生の田中麗香さんは「2年生の女子は私1人で、リーダーとして何とかみんなをまとめ、今年は最後の年として楽しく踊れました」と笑顔で話していました。

子どもたちの舞を、目を細めて見守っていた蒲野沢子ども会育成会の宮下久志会長は「能舞や手踊りを習うことで、子どもたちには自然に礼儀が身に付いてきました。子ども会は中学生までですが、高校を卒業しても地元就職し青年会に入って、500年も続く伝統の能舞を誇りを持って受け継ぎ、盛り上げて欲しいと思います」と話していました。

子どもたちの舞を、目を細めて見守っていた蒲野沢子ども会育成会の宮下久志会長は「能舞や手踊りを習うことで、子どもたちには自然に礼儀が身に付いてきました。子ども会は中学生までですが、高校を卒業しても地元就職し青年会に入って、500年も続く伝統の能舞を誇りを持って受け継ぎ、盛り上げて欲しいと思います」と話していました。



無事、本番を終わった子ども会の皆さん

東通村

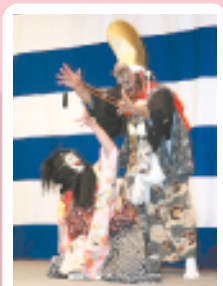
**第43回 東通村郷土芸能保存連合会発表会**  
(平成21年1月10日(土))

東通村体育館において「第43回 東通村郷土芸能保存連合会発表会」が開催されました。この発表会は東通村郷土芸能保存連合会の主催で行われ、500年余もの歴史ある能舞や神楽、獅子舞など、各地区に伝承される幽玄なる舞を披露するものです。

この日は吹雪模様の悪天候でしたが、村内はもとより県外の熱心な郷土芸能ファンが詰めかけ、老部敬神会の「平獅子」を幕開けに各地域の舞、十五演目が演じられ東通村の民俗芸能を1日堪能していました。



伝承に培われた技を披露



迫力の鐘巻

東通村

**第31回 東通村子ども会郷土芸能発表会**  
(平成21年2月15日(日))

東通村体育館において「第31回 東通村子ども会郷土芸能発表会」が開催され各地区子ども会の子供達は練習の成果を発表していました。

子供達は勇壮な甲冑姿での武士舞や、艶やかな衣装で手踊りなどステージいっぱい元気に披露していました。

この日の発表会には、村内外から数多くの観客が訪れ、地元の子ども会がステージに立つと、それぞれ大きな声援を送るとともに子供達の真剣な姿に歓声が体育館いっぱい響いていました。



大人に負けないくらい艶やかです



緊張、緊張でも観客の前で立派に披露

読者の声

〔東通村 Sさん〕

準備工事をQ&Aで書いてあるの  
ですごくわかりやすいです。工  
事が身近で行われている為、す  
ごく興味があるのでこれからも  
色々載せてもらえるとうれし  
いです!

〔編集室より〕

この素晴らしい東通村の環境を損  
なわないように、今後も準備工  
事を進めていきます。

〔野辺地町 Tさん〕

地元での作業内容やイベント、その  
報告を写真や文章でわかりやす  
く紹介しているので行くことが  
できなくても見て楽しむことが  
できます。

〔編集室より〕

野辺地町からのお便りありが  
とうございます。現在、順調に  
準備工事を進めさせていただ  
いているとこ

ろです。これからも、準備工事へ  
のご理解ならびにご声援をヨ  
ロシクお願いいたします。

〔三沢市 Hさん〕

宮城県から仕事で青森に  
来ました。各地のイベント  
などに参加して地域の  
人達との交流のために「ゆ  
きしろみず」を拝見してい  
ます。色々なグループ業  
務が紹介されているので  
わかりやすい。

〔編集室より〕

これからも、準備工事に携  
わるグループや協力企業  
などの仕事の内容や状況  
をお伝えしたいと思います。

〔六ヶ所村 Kさん〕

「寒立馬」の餌を探し食  
べる姿を見てたくましく、  
力強さを感じます。まだ  
冬が長いので怪我をしな  
いで育てて欲しいです。

〔編集室より〕

私も時々、ドライブがてら  
尻屋崎に遊びに行ってい  
ます。寒立馬のあの優し  
い瞳は何を思っているの  
だろう・・・あの大きな  
体ですが大人しくて、触  
っても怒らないし・・・

〔東通村 Sさん〕

土木調査グループの方  
々が4人という少人数で  
びっくりしました。私達  
の生活の安全の為に頑  
張ってくれているので  
応援しています。東通  
村は農林水産業の盛ん  
な村なので、前回のよ  
うなクイズをいっぱい  
出して欲しいです。

〔編集室より〕

冬号のクイズ難しくな  
ったですか?クイズは、  
問題を作る側も楽し  
いんですよ!!今回は、  
わかりましたかあ??  
難しかったかなあ??

お問い合わせ

東京電力株式会社  
東通原子力建設準備事務所 広報グループ

〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303  
TEL0175-45-7052・FAX0175-48-2019 (月～金・平日午前9時～午後5時)  
ホームページアドレス <http://www.tepco.co.jp/nu/hd-np/index-j.html>

◆誌名「ゆきしろみず」とは、雪どけ水のことをいいます。雪どけ水は静かに大地に流れ入り、浸し、潤します。我々も雪どけ水のように地域に浸透し、一体となっていればという願いが込められています。

編集後記

春が来れば思い出す～

春といえばミズバショウですね。東通村のいたるところで自然の植物が目覚ます季節・・・それに引きかえ、私は、毎日眠い日が続いています。

さて、今度の休みの日には久しぶりに「ジョギング」でもしてみようと思っています。

担当者 S

